100億宣言

三笠 株式会社（製造業）

三笠株式会社
MIKASA Corpration



三笠本社ビル

〇本社所在地：大阪府守口市
〇事業概要：大手家電、自動車部品、電動工具メーカーのＯＥＭ製造及び生産技術、品質管理機能を兼ね備えた技術商社
〇常時使用する従業員：218名
（グループ全体・2026年10月時点）
〇現在の売上高：61億円
（グループ全体・ 2025年12月期）
〇法人番号：2120001008714
〇Web：https://www.mikasacorp.com

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
社領　憲司

地場のものづくり企業から世界の暮らしを支える国際総合企業への脱皮

創立75年で培ったメーカーとしての技術と中国国内に無数に張り巡らしてきた商流ネットワークをいかんなく発揮し、世界の人々の身近で暮らしに役立つ家電、自動車、電動工具分野などへの材料、部品、完成品をお届けし、地球上の人たちが、より豊かで安心な生活を実現していく社会の一端を担っていく。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

自社で生産できるものは取り込むことで自社工場を拡大、商社分野でも三笠の持つオンリーワンともいえる、中国ローカルネットワークを活かしながら、そこに技術、品質管理のノウハウを入れ込み、お客様に安心を提供できる企業を目指すことで、大手有力ブランドメーカーから受注増を狙う。結果、3年後の2029年にグループ全体での100億円達成、また8年後の2034年には国内単体で100億円、グループ全体では170億円突破を目指す。

課題

１．ロボット化やＡＩ等への対応として、ハードだけでなくソフト技術も兼ね備えたサプライヤー発掘。
２．金属と樹脂の一体成型へ更なる注力をしていくことで自社工場製品の付加価値を高めていく。
３．技術と営業を兼ね備えた人材補強、育成。また、現場作業スタッフも増員。
４．事業並びに事業所自体の集約化も今後の検討課題。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

１．国内だけでなく海外有力大手ブランドメーカーへの顧客開拓。
２．物流網、拠点倉庫の更なる構築。
３．チャンスがあれば、他事業とのＭ＆Ａも検討。
４．経営管理能力、品質管理能力のある人材の採用（ヘッドハンティング）。
５．自社工場内での設備増強、ロボット化推進。

実施体制

１．国内、中国にとどまらず、アセアン、欧米からの人材採用及びそれらの地域の販売／製造拠点構築を目指す。
２．材料、部品、完成品と事業の多角化に伴い、それぞれの専門家（個人商店的な）集団からジョブローテーション、配属異動、多能工化推進により、全社員が複数の業務関与できるような一体化を目指し、100億目標達成を進めていく。
３．Ｒ＆Ｄ事業への再度挑戦。

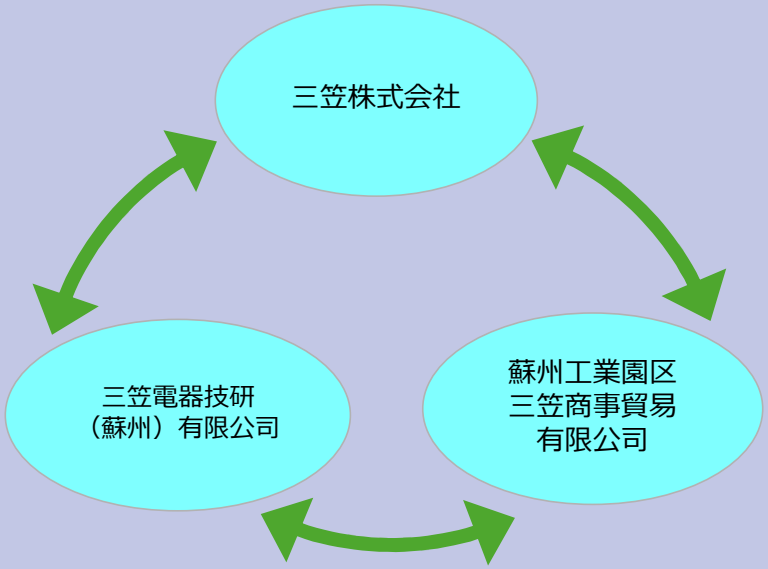
※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

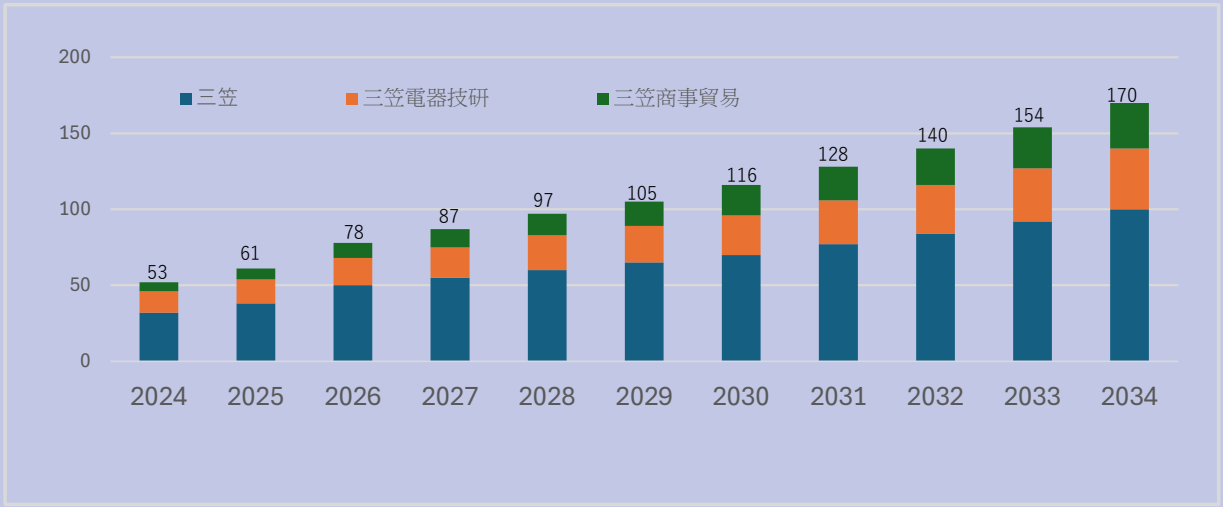
三笠 株式会社（製造業）

グループ体制

三笠グループは、まず金属材料の卸売、加工を含む三笠金属株式会社を発祥として1952年に設立。その後、時代の変化に合わせ成型事業や貿易事業が加わり、三笠株式会社へと移り変わる。2001年には、海外での本格量産工場として三笠電器技研（蘇州）有限公司を、2012年には中国内販事業展開すべく蘇州工業園区三笠商事貿易有限公司をそれぞれ三笠株式会社からの独資100%で設立。

三笠グループは上記3社が一体となり、製造、品質管理、国内販売、海外との輸出輸入三国間貿易、中国国内販売とお客様のニーズに対し、タイムリーかつ適材適所で対応できる体制になっております。





○法人番号：2120001008714（三笠株式会社）、該当なし（三笠電器技研（蘇州）有限公司）、該当なし（蘇州工業園区三笠商事貿易有限公司）